

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成26年1月(2014年) No.577

新年のご挨拶

今年も明るく、楽しく、良い年でありますように

会長 合原一夫

あけましておめでとうございます。昨年は猛暑で暑い日が続いたかと思ったら、秋らしい秋を感じたとたん寒い日々で年末年始を迎えてしまいました。気候の激変も地球温暖化云々と関係があるのでしょうか、皆さん、風邪など召さぬよう用心して下さい。また、地面が凍ったりするとすべり易くなりますので、転んで骨折などしてしまったら大変です。お互い身体だけは大事にして下さい。そして撮影や例会を大いに楽しみにしましょう。

昨年度の例会活動を調べてみました。出席者は1例会当り、前年度に比べ0.9人減の21.4人、作品数は前年度に対して0.5本減の12.6本と、いずれも若干減少気味でした。これも会員の高齢化と共に当然予想されていたことではありますが、他のクラブと比べればまだ皆さん元気で頑張っておられ喜ばしい限りです。

私は、妻が万病を抱えて車椅子生活者になり、24時間介護の身となりましたが、介護保険のおかげで訪問介護とか、訪問診療、サービスの利用でリハビリ訓練など、いろんな支援制度や施設を利用して貰い何とか年の瀬を乗り切ることができました。介護保険など日頃は年金から引かれるばかりでしたが、イザとなったら大変役に立つものだと実感した次第です。しかし介護保険の利用などしなくても良いなら、それはそれで結構なこと、めでたいことだと思います。

皆さん、元気なうちに身体に注意して大いに人生を楽しみましょう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月例会と総会及び新年会のおしらせ

1月例会は通常と異なり第3日曜 19日午後1時より開催しますのでお間違え無いようご注意ください。例会のあと総会を行います。

新年会は午後5時より5階のレストランで開催します。出欠ハガキを出していない方は至急会長あてに送って下さい。

全国コン入賞

おめでとうございます。

○ f i s h e y e 国際映画祭2013

国内優秀賞 愛犬ボンの思い出

有村 博さん

ちなみに国内グランプリは、映像北大阪の堀皓二さんの「ひまわり」だそうで、韓国で行なわれた受賞式に招待され、楽しいひと時だったようです。

平成25年度例会記録

クラブ活動は、趣味仲間が定期的に集まって楽しいひとときを過ごすもの、その円滑な運営が望まれますが、今のところ昨年度とほぼ変わらず、ますますの盛会が続いています。

最近5年間の例会記録

年度	会員	出席数	出品数	作品数
H21	40	28.1	15.6	197
H22	40	26.5	13.2	169
H23	39	23.8	13.8	172
H24	36	22.3	13.1	166
H25	36	21.4	12.6	163

注 1) 出席数、出品数は1例会当りの人数

及び作品の数、但し撮影会作品は含まず

注 2) 作品数：年間総出品数で、撮影会作品も含む

例会持参の録画方式の推移%

年度	テープ方式		ディスク方式	
	DV	HDV	DVD	BD
H21	15.5	84.5	—	—
H22	16.0	84.0	—	—
H23	10.3	81.2	—	8.5
H24	1.6	61.1	1.6	35.7
H25	4.0	4.5	2.0	89.5

注) BDにはSDカードも含む

BD即ち、ブルーレイディスクは平成24年の後半から急増し、昨年度はほとんどの作品がブルーレイディスクになっています。

これは編集機材の進歩と例会での上映環境の充実があります。テープで持参すると例会でも引け目を感じるようになりまし

た。

上映担当、録画記録担当者に、よけいな手間をかけるんじゃないか等と想ったりします。今年平成26年度もほとんどBDでしょう。唯、過去に撮った例えばテレシネ作品のようなものとか、DVで撮った未編集ものを編集して作品に活かしたいといったものは、これからも出てくることでしょう。いずれにしても、時代の流れは急速で、私などついていけなくて困っております。

(合原)

12月例会のレポート

12月例会は1週早く第3土曜21日、今年最後の例会を開催しました。午後からの幹事会や世話役会を開いていましたので、世話役の方は引続きの例会び2次会でお疲れのことだったでしょう。今月は今年初めて岩井会員が顔を見せられ、健在でいらしたことが判りほっとしました。それにしてもこのところ例年になく寒さが続いております。この寒い夜に23名の方が集まり、作品14本が出されて、時間少々オーバーの盛会となりました。

今月の司会は有村氏、書記、合原氏、上映担当、井上、河合、江村の3氏、受付兼照明係は森下、紙本の各氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、岩井、上田、江村、岡本、上総、紙本、河合、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、華岡、前田、宮崎、森口、森下、山本、渡辺、野田、吉村の23氏。

■作品上映（今月の講評は合原会長です）

1. 熊野古道・祈りの晩夏 (DVD-W)

岡本至弘

14分40秒

岡本さん、半年ぶりの出品は、故郷でのお盆の頃の情景を描いておられ、うらやましい限りの良いテーマです。それだけに脚本構成次第で立派な作品になり得る可能性を秘めています。ずばり感想を述べさせていただきますと、①BGMの演歌が雰囲気にはマッチしていない、どこかの呑み屋の情景が浮かんできます。②「父」が紹介され、自家発電の模様など描かれていますので、父の生き様を描いたものかと思っておりましたが、歩いて行った先に、大勢の人が集ま

りお盆の情況、そして精霊流し、盆踊りと続いて「完」となります。ナレーションが無いので、父と大勢の人（同じ村の人？親戚縁者の人達？）との、かかわり合いが不透明③提灯などを燃やすシーンが長すぎる④構成と父を中心に普段の生活とその環境、そして年一度の人の集まる行事をクライマックスにまとめられたら良い作品になると思いますが、ナレーションが欲しいところです。頑張っって良い作品へ挑戦してみてください。

2. 鞍馬の火祭り (BD)

高瀬辰雄 12分15秒

鞍馬の火祭りの由来から描かれ、鞍馬街道沿いに軒を並べた由岐神社の氏子の前に松明が飾られているところから、夕方、松明に火を点して御旅所へ、そしてそこで集まった松明の火が喚声と共にクライマックスを迎えると一連の祭礼行事を、ノンナレーションながらテロップと共に丁寧に描写され、大変な努力作です。この作品を撮影するため夜遅くまでご苦労された跡が滲みでています。ラストのクライマックスで用いられた BGM はよくマッチしてよかったです。曲が途中でフェードで終わったのは残念でした。

3. 秋立ちて (テレシネ)

野田邦雄 8分35秒

昭和 37 年に作られたホームムービーです。新入会員さんが初出品されたもので作者が若い頃から 8 ミリ映画に取り組んでおられたことが判りました。ナレーションや BGM も入った立派な 8 ミリ映画で、作者にとっても忘れがたい思い出の作品なのでしょう。子供さん達も今では孫さんが居る年齢かと思いますが、いずれにしても貴重な「我が家の記録」であることは間違いありません。

4. 花笠踊 (BD)

宮崎紀代子 12分20秒

山口県周南市八代魚切地区に伝わる 470 年も続く無形民族文化財、花笠踊りを撮っておられます。ここは鶴の里としても知られ、静かな山あいの村の様子がまず紹介されています。二所神社の境内で行われる筈の花笠踊りが雨の為、体育館で開催されることになったのは、如何にも残念でした。

体育館での踊りをメインテーマにするには少し無理があるようです。むしろ、鶴の里の風情を中心に、その一環として花笠踊りを挿入されたらいかがでしょうか。

5. トラカイ城 (BD)

華岡 汪 8分22秒

リトアニアの首都ヴァリニューにあるトラカイ城というところに旅をしてこられました。珍しい中世の城で、内外を細かく紹介されており、始めて見る城を活用した博物館の充実ぶりを見せて頂き、私達も居ながらにして海外旅行の気分を味わいました。ヨーロッパには、こうした中世の素晴らしい城がまだまだたくさんありそうです。

6. 毛利城址を歩く (BD)

紙本 勝 13分30秒

日本各地の城址を訪ねて、現地をくわしく調べ、撮影されてこられるそのバイタリティーにまず脱帽のほかありません。日本中のアマチュア映像作家の中でも、紙本さんほどの方はおられないのではないかと、そんな気がします。元気の秘訣はやはり撮り歩き、頭を使って作品に仕上げる、その喜び、といったことでしょうか。今回の毛利城址も関心を持って拝見しました。

7. 赤川仮橋最後の日 (BD)

前田茂夫 12分58秒

鉄道マニアのテッチャンらしく、鉄道にまつわるイベントを追いかけて撮影してこられました。昭和 4 年に開通した城東貨物線の赤川鉄橋は、複線仕様ながら単線で使われていましたが、その後余っている線路 1 本分を大阪市が借り受け、歩道橋として 80 数年間利用してきました。それが平成 25 年 10 月 31 日夜 24 時に閉鎖されるとあって、この日は特に見納めの近所の人やカメラマン、鉄道ファン等が大勢集まって、仮歩道橋最後の雰囲気味わって来ました。作品は、集まってきた人々の表情をインタビューを混えてうまく描写されており、別れを惜しむ情が伝わって来ました。13 分余りは少し長いので 10 分くらいに納めたほうが、より印象に残る作品になると思います。

8. 大山名水探訪 (BD)

森口吉正 9分40秒

森口さんが取り組んでおられる名水シリーズの一つで、今回は大山のふもとに湧き出る名水三ヶ所を巡っておられます。豊かに湧き出る名水の数々をすっかり堪能させていただきました。車で行かれた由ですが、その行動力に敬意を表します。よく纏まった作品でした。

9. 飛鳥の風 (BD)

鉄具嘉夫

6分00秒

万葉集にまつわるテーマをよく追い掛け続けておられる作者は、今回は飛鳥をとり上げて往時を偲んで描いておられます。飛鳥大仏など懐かしのカットが随所に出て、私も飛鳥へ行ったのは何年前だったろうかと、感慨もひとしおでした。それにしても難しいテーマによく取り組んでおられます。これからも頑張って良い作品作ってください。

10. 錦秋の牛滝山 (BD)

上田吉巳

5分30秒

デジカメの動画で撮影されたそうです。最近ではデジカメでもよく撮れることが判りました。紅葉の色もよく出ていました。岸和田の山奥にある牛滝山は、京都の高雄と肩を並べる紅葉の名所とか、紅、黄、緑の葉っぱがほどよく調和して、確かに紅葉のきれいなところといった印象です。秋の晴れた日、紅葉を求めて気軽に撮り、そして映像スケッチとして纏められた作品でした。

11. おらが祭りさ・前編 (BD)

河合源七郎

13分30秒

能登の各地で行われているキリコ祭りの記録で、今回はその第12編・おらが祭りさ前編ということで宵宮の情景を描いておられます。普段は若者たちの姿は少ない地方の村でしょうが、祭りのときばかりは全国に散らばっている若い人達、中年のおじさんたちも里帰りして祭りを楽しむのでしょう。そういう雰囲気が滲み出ています。それにしても能登の各地のキリコ祭りを撮りまくっておられる作者の情熱とお元気に敬意を表します。後編は、祭り本番の情景と思いますが、一般篇として全体を12～13分にまとめた作品もほしいところです。

12. 秋の南ドイツ (BD)

山本正夢

7分40秒

作者のクレジットタイトルが変わっていて場内から「ほおー」という声が聞こえてきました。南ドイツものは初めての作品ということです。前半の古城と紅葉、そして朝霧のトップシーンなど、詩情豊かな風景が描かれ、うっとりとししました。中間はマーケットのざわめき、後半はビアガーデンと生演奏のシーンが艶やかな雰囲気を描かれています。この作品を見ますと、南ドイツも観光にはいいところだなあと感じました。旅情たっぷりの作品、充分楽しませて頂きました。

13. YOSAKOI 2011 (BD)

江村一郎

7分30秒

毎年故郷のよさこい祭りを撮りに行かれている作者、纏め方も色々のご苦労されていると思います。今回は正攻法で江村さんならではの作品に仕上がっており、よさこいの撮影、編集はこうあるべきだといった教えられる気がしました。が、そうそう真似の出来ない描き方で、とても追いつけるものではありません。トップシーンの現録だけで子供の表情や開幕を待ちわびる観客のシーンがあり、やがて静かなよさこいの歌と踊りが始まり、それが次第にテンポの速い激しい踊りへと進行していく、その辺りのテクニックがさすがだと思います。

14. 天王寺界限 (BD)

有村 博

7分20秒

トップシーンのアベノハルカスの壮大なスケールのビル、そして天王寺公園に入り公園の紅葉の間から見えるアベノハルカスの遠望、天王寺界限の風景を一変させたようです。天王寺公園の雰囲気も変わっていました。ノンナレ作品かと思ったら後半は一心寺の紹介になってくわしい解説が入り、アレっ…と思いました。ラストが南無阿弥陀仏、続いて「合掌」でエンド。どうやら主役は一心寺だったようです。

15. 勝尾寺晩秋 (BD)

進藤信男

7分05秒

寺の由来から始まり晩秋の寺の風情をよく描かれています。夜の風景も又、独特の雰囲気があり良い作品に仕上がっていました。